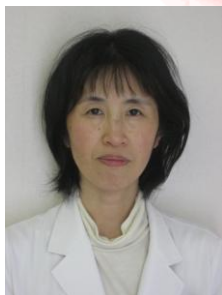


■発行元■

南国市大涌甲 1479-3
医療法人つくし会 南国病院
TEL 088-864-3137
<http://www.nankoku-hp.or.jp>

ごあいさつ

内科部長 川村一子



はじめまして。4月に赴任しました川村一子と申します。出身は香川県ですが、高知県に来てから今年で足かけ14年になります。高知の言葉にもすっかり慣れてきました。

当院では外来、入院患者さんの内科全般のことを担当させていただきます。今まで、私は（研修病院を除いては）主にへき地の病院で診療をしてきました。へき地ですから医療機関も少なく交通の便も悪いので、できるだけどんな病気でもまずはみるように心がけてきました。この病院は町中にあり、また患者さんも比較的特殊な疾患の方が多く、少し状況は違いますが今までと同じようにできるだけ色々なことに対応して地域の人たちや入院患者さんのお役に立ちたいと思っています。何かあれば気軽に声を

かけて頂ければうれしいです。

それではこれからどうぞよろしくお願い致します。

「第2回神経筋ネットワーク研究会 四国ブロック学術集会」に参加して

リハビリテーション部 言語聴覚士 桑原生子

平成22年2月27日に上記学術集会が国立病院機構徳島病院であり、当院からは中澤院長、戸田臨床心理士、久保岡看護師、福井看護師、溝渕栄養士、桑原が参加しました。研究会は中澤院長をはじめ3名の医師による特別講演、戸田臨床心理士と桑原を含む一般演題が9演題、ポスター発表が7題あり、全体としては看護師さんの発表が多かったです。

私が一番興味をもったものは、高松医療センターの市原先生の講演「筋萎縮性側索硬化症におけるTPPV（気管切開下人工呼吸療法）下発声のメカニズム」でした。

私は勉強不足で人工呼吸器下で発声する方法があることすら知りませんでした。発声をあきらめざるを得ない人工呼吸器を装着した患者様で、特に口の機能が保たれている方のQOLのためには有効と思われ、勉強してぜひ取り組んでみたいです。

私はこの会に昨年も参加し発表させていただきました。発表に当たって考えをまとめていく過程は物を生み出す「苦しみ」を伴う作業のように感じます。自分の中で漠然としているものをわかりやすく、適切な言葉で表さなければいけません。しかし深く考える作業をすることで、まとめ始める前は気がつかないことについて「ああ、そうか」というあらたな発見にもつながり、出来上がったときはすっかりとした気持ちになります。新たな発見をする意味で来年はぜひ、他の部署からの演題も期待します。

末筆ながら、今回の発表に際して、ご指導いただいた院長先生や忙しい業務の中予演会に参加して下さったりリハビリ部の皆様、宮地栄養士さん、大黒・井河・井土各看護師長さん、ノーマル例の発声を調べる研究活動に快く協力してくれた藤本看護助手さんに感謝します。



国立病院機構
徳島病院にて



南国病院開院記念祝賀会

平成22年4月21日(水) グレース浜すし

4月21日(水)午後6時よりグレース浜すしに於いて、開院41周年記念祝賀会が行われました。院長挨拶に続き、今年に入ってから12名の採用者の紹介が行われ、川村一子先生(内科部長)が代表して挨拶をされました。また、理事長からは常務理事として5月から勤務される岩崎明雄氏の紹介があり、ご本人から挨拶がありました。続いて森田先生の乾杯のご発声で開宴しました。今回は出席者が少なめでしたが、3病棟、リハビリテーション部が演し物を行い、会場は大爆笑に包まれ、大変盛り上がった宴会になりました。



新入職員のご紹介

医局(内科部長)
川村一子



できるだけ色々なことに対応して地域の人たちや入院患者さんのお役に立ちたいと思っています。何かあれば気軽に声をかけて頂ければうれしいです。

放射線室(診療放射線技師)
山崎一成



患者さんには「優しく」、仕事は「速く」を実践して頑張ります。

2病棟(看護助手)
武島翠



一日一日を大切に一つずつ確実に仕事を覚えて、皆様に迷惑を掛けない様、積極的に働き元気に明るく笑顔で頑張ります。

3病棟(看護助手)
谷末佳栄



本格的な病院業務には、2年程離れていたため初心忘れず、頑張ってください。

5病棟(准看護師)
下池美佐子



私は、当院を一度退職して再就職をさせて頂きました。退職して10年余りの歳月が流れその間に仕事の内容も大分変わっていて戸惑いでしたが、焦らずにしっかりと仕事を覚えて皆様の足手まといにならないよう頑張りたいと思います。

5病棟(准看護師)
前田聡



一日でも早く仕事を覚え、一生懸命頑張ります。

5病棟(准看護師)
澤田太一



一日でも早く仕事を覚えて、皆様に迷惑を掛けない様に頑張ります。

栄養部(調理員)
中谷浩幸



新しい職場に慣れるよう、仕事を頑張ってください。

3病棟の1月・2月生まれの誕生会&節分祭

平成22年2月28日(日) 14:30~15:15



誕生会 4 回目、「節分」にちなんで“鬼”をテーマに行いました。

参加者と、ご家族や知人の方々が一緒に楽しい時間を過ごすことが出来て、スタッフ一同嬉しく思っております。中でも患者様からの詩吟のうたいをプレゼントされ、マイクもいらない程の音量には皆びっくりするほど感動し涙がこぼれました。澄みきった声に感激した患者様から「ありがとうございます。感謝です。」と大粒の涙を流して手を合わせて下さった姿に胸が詰まる思いをしました。

このような触れ合いができ、気持ちがひとつになれたことを実感したことでした。

また、スタッフの“鬼のパンツ”の踊りも皆さんの大きな歓声をいただき、「良かったー！ やったー！」という思いでいっぱいです。

これからも参加者の方々に喜んでもらえる姿を見たい一心で日々頑張ってます。

次回は更に楽しめる様計画しています。他の病棟の患者様やスタッフの方々も、是非ご参加下さい。お待ちしております。

3 病棟 小松由紀子



可愛い鬼からこわいお面の鬼スタイルみんなノリノリです。



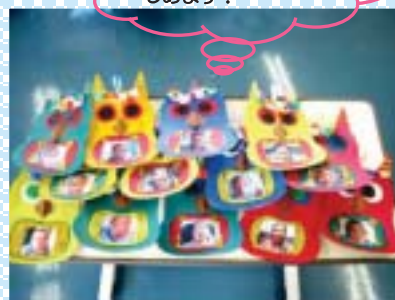
3 病棟名司会者の小松由紀子です



どやっ！



み～んなすてきな笑顔でカメラマンも楽しめます！



練習しなくてもいつものチームワークの良さと踊りはバッチリ決まりました！



太鼓はデイクアの手作り！



南国病院つくし祭

平成22年4月17日(土) 10:00~15:00

つくし祭を終えて

斉藤 洋

つくし祭の実行に際しては、バザーや模擬店の販売などにご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、多くの売り上げも得ることができ、地域の住民の方にも喜んでいただくことが出来ました。

さて今回より、これまで南国病院作品展として開催していたものを「つくし祭」と改名しました。これは、担当で今回のイベントのコンセプトを考える中で「地域の住民の方が気軽に参加できるイベントとして親しみやすい名前にしてはどうか？」との案があり、検討した結果、医療法人つくし会南国病院の「つくし」をいただき、「つくし祭」に決定いたしました。

少し余談になりますが、もともとの医療法人つくし会の「つくし」には、地域の医療と福祉につくすことと、当法人がつくしの様にスクスクと成長していきたいとの願いもこめられているそうです。「つくし祭」についても、地域の住民の方に気軽に参加でき喜んでいただけるイベントとして定着化し、また今後は、地域住民や企業・学校なども巻き込み一緒に作り上げていくイベントとして、つくしのようにスクスクと成長していければと考えています。



